

APRSAF-27 オンライン水ロケット大会

日本代表選考 距離計測・測定時のビデオ撮影について



製作した水ロケットを、生徒一人一機ずつ、目標点に向かってなるべく近く着地させるように打ちあげてください。

審査は記録のみでは行いません。作文、水ロケットのレポートの内容と合わせた総合評価にて行います。

***安全に十分に注意し、撮影、打ち上げを行ってください**

水ロケット本体について

- ・チームで2機、水ロケットを製作し、生徒1人1機打ちあげてください。
- ・ペットボトルは1.5L（炭酸用）のものを利用してください。
- ・**1段式**のものを作成してください
- ・安全上の理由により空気圧は最大で5 barとします。
- ・そのほかの材料や形は自由です

***危険物、電子機器は使用しないこと**

目標点の設定

①40m、②50m、③60mのうちからの距離を1つ選択し、事前に設定してください。

・目標点に向かって、水ロケットを打ちあげ、設定した目標と着地点（水ロケットが転がり止まった場所ではなく、最初に地面に着地した場所）の距離を計測した記録を提出してください

ビデオの撮影

「打ち上げビデオ撮影方法」をよく読み、打ち上げ→水ロケット着地→距離計測の様子 までビデオは切らず、ワンカットで撮影したビデオを提出してください

記録の提出

目標点からロケットが着地した点までの距離を計測し、記録提出用紙に記入、ご提出ください。

***オンライン国際大会は、個人競技になります。生徒一名それぞれで打ち上げた記録を提出していただきます。**

***上記要領は国内予選のみに適用されるものであり、本大会（オンライン国際大会）競技ルールでは目標点への距離、空気圧の最大値等が異なる場合があります。*現時点では国際大会の目標点は60mの予定です。**

APRSAF-27 オンライン水ロケット大会

日本代表選考 距離計測・測定時のビデオ撮影について

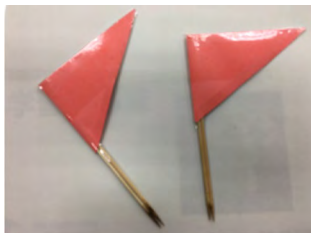


打ち上げビデオ撮影方法

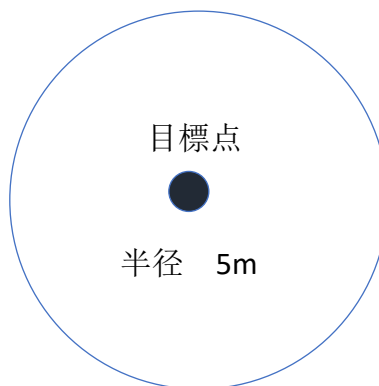
※安全に十分注意し、リーダーの指導の下、十分に離れて撮影してください。

・目標点分かるように、印を置いてください

目標点から半径5mの地点が分かるように印を置いていただくと、確認がしやすくなります。※必ずおいていただく必要はありません



※印に指定はありませんが、芝生である場合、写真のようなものを作成すると便利です。



・目標地点を含む全体が確認できる場所から撮影してください



「発射の少し前から録画開始→発射→水ロケットの着地→距離計測」まで、ビデオを切らずに続けて撮影してください。上記が確認できれば結構です。携帯電話のカメラ等での撮影も可。（飛行の様子に加え、記録の正しさを確認する為の撮影です。編集は行わないこと）

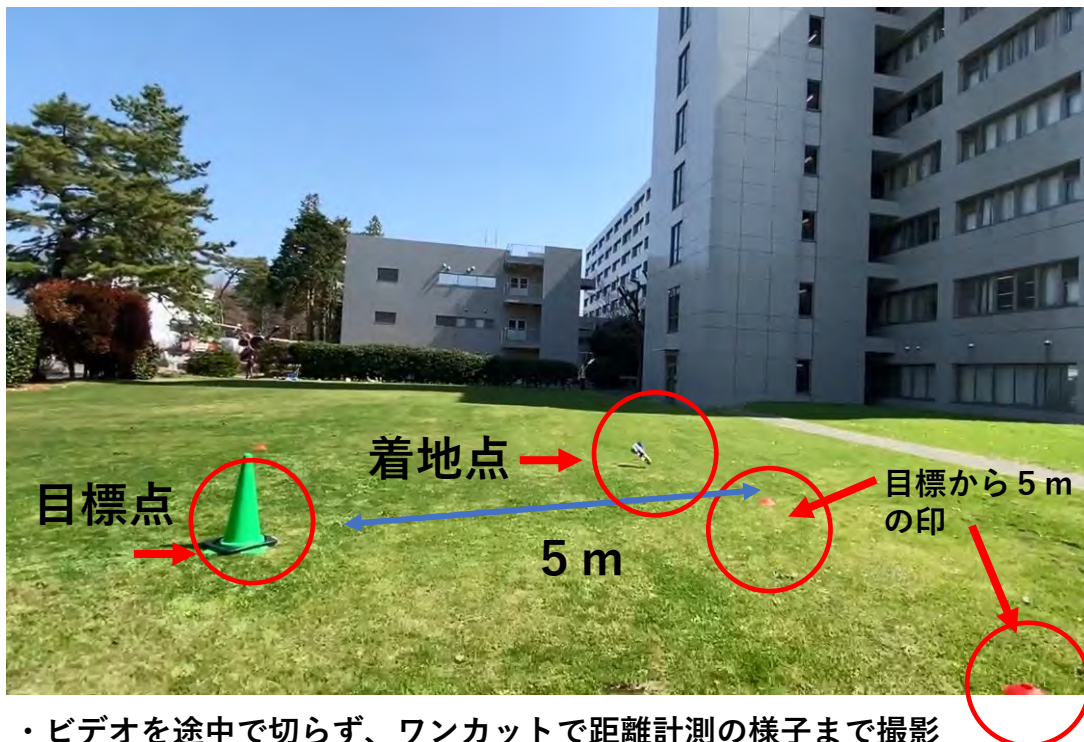
APRSAF-27 オンライン水ロケット大会

日本代表選考 距離計測・測定時のビデオ撮影について



・着地点が確認できるように撮影して下さい

※安全に十分注意し、リーダーの指導の下、十分に離れて撮影してください。
※着地点とは、水ロケットが最初に地面についた場所です。（転がり止まった場所ではありません。）



- ・ビデオを途中で切らず、ワンカットで距離計測の様子まで撮影
- ・計測時は、目標点、着地点それぞれに印を置いてください
- ・メジャーのメモリが**目標点、着地点共**にビデオで確認できるように撮影して下さい

